

病院・水道事業の

経営状況

問合せ

志木市立救急市民病院

☎(472)9211

水道部業務課 (SUDO-G)

内線2711

11月号では、平成17年度一般会計の歳入歳出決算状況をお知らせしましたが、今月号では、病院事業会計及び水道事業会計の決算状況をお知らせします。

病院事業会計決算

医業収益は、入院が一日平均七十一人、外来が一日平均二百五十三人で約十五億五千万円となっております。

これに対する医業費用は、職員九十五人分の給与費や医療機器の修繕などが主な支出で約十五億九千万円となり、差し引き約三千四百万円の医業損失となりました。

一般会計からの繰入金も約二億一千六百万円あり、依然として厳しい経営状況となっています。

平成17年度志木市病院事業損益計算書
(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

(単位 千円)

1 医業収益			
(1) 入院収益	812,297		
(2) 外来収益	528,862		
(3) その他医業収益	215,692	1,556,851	
2 医業費用			
(1) 給与費	989,228		
(2) 材料費	189,377		
(3) 経費	342,889		
(4) 減価償却費	60,834		
(5) 資産減耗費	6,044		
(6) 研究研修費	3,089	1,591,461	
医業損失			34,610
3 医業外収益			
(1) 受取利息配当金	3		
(2) 補助金	9,677		
(3) 負担金	27,072		
(4) 患者外給食収益	2,129		
(5) 患者外寝具収益	2,467		
(6) 指定居宅サービス介護収益	29,335		
(7) その他医業外収益	5,366	76,049	
4 医業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	14,195		
(2) 患者外給食材料費	2,639		
(3) 患者外寝具料費	219		
(4) 雑支出	28,384	45,437	30,612
経常損失			3,998
5 特別利益			
(1) その他特別利益	50,843	50,843	50,843
6 特別損失			
(1) 特別損失	53,966	53,966	53,966
7 予備費			
(1) 予備費	0	0	0
当年度純損失			7,121
前年度繰越欠損金			109,832
当年度未処理欠損金			116,953

平成17年度患者数

入院総数	25,859人
一日平均	71人
外来総数	92,366人
一日平均	253人

水道事業会計決算

営業収益は、給水収益が約十億三千二百万円で、水道加入金などのその他営業収益が約二億三千万円、合計約十二

平成17年度志木市水道事業損益計算書
(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

(単位 千円)

1 営業収益			
(1) 給水収益	1,032,356		
(2) その他営業収益	229,515	1,261,871	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	464,250		
(2) 配水及び給水費	113,606		
(3) 総係費	122,789		
(4) 減価償却費	342,943		
(5) 資産減耗費	824	1,044,412	
営業利益			217,459
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	1,103		
(2) 雑収益	480	1,583	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	102,463		
(2) 雑支出	195	102,658	△ 101,075
経常利益			116,384
5 特別利益			
(1) 特別利益	562	562	
6 特別損失			
(1) 特別損失	4,004	4,004	△ 3,442
7 予備費			
(1) 予備費	0	0	0
当年度純利益			112,942
前年度繰越利益剰余金			4,023
当年度未処分純利益剰余金			116,965

億六千二百万円となっております。これに対する営業費用は、水道水の購入・給水にかかる費用が主なもので約十億四千四百万円となっております。約二億一千七百万円が、営業利益となりました。本来の営業活動でみると、1㎡当たり、給水原価百五十五円三十一銭に対し、供給単価は百三十九円七十八銭で十五円五十三銭の逆ざやが生じています。それを加入金による収入約二億七百万円で補う形になっていきます。

供給単価及び給水原価

供給単価(販売)	139円78銭
給水原価(生産)	155円31銭
差し引き(逆ざや)	△15円53銭

病院・水道事業上半期の状況

さて、病院・水道事業の現在の経営状況はどうでしょうか。平成18年度上半期（4月～9月）の状況をお知らせします。

病院事業上半期状況

病院事業の平成18年度上半期の医業収益は、平成17年度と比べ、約五千三百万円の減収となっています。これは、入院患者数が約千六百人、外来患者数が四千五百人減少していることがあげられます。患者数減少の要因として、常

勤医師の確保が難しい状況から、平成18年3月以降の当直は、小児科を必須とし内科・外科・整形外科のうち一科を加えた二科体制になっており、患者ニーズに十分に配慮されていない現状があるためです。一方、医業費用は、平成17年度と比べ、約四千二百万円減少しています。これは、職員減による給与費が減ったこ

とや、医療品・診療材料費の削減、医療機器にかかる修繕費、消耗品費、賃貸料などの経費が削減されたことによるものです。

依然、厳しい経営状況が続きますが、今後は、11月号に紹介したように、市民病院ルネッサンス・プロジェクト委員会から提出された最終報告を尊重するとともに、市民病院の経営診断業務や施設改修など構想図作成業務の結果を考慮し、安心・安全な地域医療を提供するための「市民病院再生計画」の策定に着手します。



水道事業上半期状況

水道事業の平成18年度上半期の営業収益は、平成17年度と比べ、約二百二十二万円の増収となっています。

これは水道事業にとつての収入源である水道料金が、約八百六十万円の減収となっているものの、その他営業収益である加入金が千二百二十万円の増となっていることが主な要因です。したがって水道事業の健全経営から考えると決して安心できる状況とはいえないのが現状です。また、営業費用をみると、

志木市病院事業会計上半期状況

(単位 千円)

区 分	平成18年度	平成17年度	差 額
医業収益	703,656	757,239	△ 53,583
入院収益	370,259	396,403	△ 26,144
外来収益	243,889	261,562	△ 17,673
その他医業収益	89,508	99,274	△ 9,766
医業費用	720,260	762,357	△ 42,097
給与費	458,267	481,431	△ 23,164
材料費	78,608	84,614	△ 6,006
経費	147,257	161,057	△ 13,800
減価償却費	34,284	30,417	3,867
資産減耗費	306	3,022	△ 2,716
研究研修費	1,538	1,816	△ 278
医業利益(△損失)	△ 16,604	△ 5,118	△ 11,486
医業外収益	26,513	45,172	△ 18,659
受取利息	4	3	1
補助金	0	0	0
負担金	8,242	27,072	△ 18,830
患者外給食収益	811	1,198	△ 387
患者外寝具収益	1,069	1,099	△ 30
指定居宅サービス介護収益	13,606	12,885	721
医業外収益	2,781	2,915	△ 134
医業外費用	8,913	20,675	△ 11,762
支払利息	6,513	7,367	△ 854
患者外給食材料費	843	1,143	△ 300
患者外寝具料費	110	92	18
雑支出	1,447	12,073	△ 10,626
医業外利益(△損失)	17,600	24,497	△ 6,897
特別利益	0	50,843	△ 50,843
特別損失	1,636	52,405	△ 50,769
差 引	△ 640	17,817	△ 18,457

志木市水道事業会計上半期状況

(単位 千円)

区 分	平成18年度	平成17年度	差 額
営業収益	666,794	664,566	2,228
給水収益	513,159	521,843	△ 8,684
水道料金	513,159	521,843	△ 8,684
その他営業収益	153,635	142,723	10,912
手数料	1,557	1,463	94
他会計負担金	2,250	3,640	△ 1,390
加入金	133,152	121,892	11,260
受託料	16,319	15,602	717
雑収益	357	126	231
営業費用	458,320	465,688	△ 7,368
原水及び浄水費	190,421	190,693	△ 272
配水及び給水費	48,753	45,749	3,004
総 係 費	56,813	57,362	△ 549
減価償却費	161,937	171,472	△ 9,535
資産減耗費	396	412	△ 16
営業利益(△損失)	208,474	198,878	9,596
営業外収益	113	40	73
受取利息及び配当金	3	3	0
雑収益	110	37	73
営業外費用	49,561	51,782	△ 2,221
支払利息及び企業債取扱諸費	49,561	51,782	△ 2,221
経常利益(△損失)	△ 49,448	△ 51,742	2,294
特別利益	67	563	△ 496
特別損失	2,278	2,007	271
差 引	156,815	145,692	11,123

平成17年度特別会計決算

(単位 千円)

項 目	歳 入	歳 出	
		一般会計繰入金	
老人保健	3,771,435	297,753	3,696,569
国民健康保険	5,469,442	549,885	5,292,658
下水道事業	1,967,891	706,111	1,862,577
館第一排水ポンプ場	836,235	156,057	796,842
志木駅東口地下駐車場事業	86,978	0	86,107
介護保険	1,551,912	221,537	1,495,536

老朽化した給水管などの修理が多くなったために、配水及び給水費が約三百万円の増となっています。今後、安全で安定した水道水を供給するためには、埋設管の布設替などを実施していく必要があります。増すものと考えていますので、経費削減とともに一層の経営努力に努め、健全経営を行っていきます。